

B型慢性肝炎症例に対するペグインターフェロン単独治療の有用性についての検討

1.研究の目的

B型慢性肝炎症例に対するペグインターフェロン単独治療の抗ウイルス効果ならびに発癌抑制効果について検討する。

2.対象患者

HBs抗原持続陽性のB型慢性肝炎症例で、ペグインターフェロン単独治療予定、あるいは、ペグインターフェロン単独治療を開始した症例を対象とする。以下の選択基準を満たし、除外基準に抵触しない症例とする。

3.研究者

消化器内科 飯尾 禎元 他

4.実施予定期間

実施承認後 ～ 2025年6月30日（10年間）

5.研究に関する情報公開の方法

当該研究は、国立大学付属病院長会議(UMIN)へ登録し情報公開する。

平成28年6月21日 倫理委員会承認（受付番号H28-11）